

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-イ	世界と共生する社会の形成	施策	② 多文化共生型社会の構築
			施策の小項目名	○外国人にやさしい観光地づくり
主な取組	案内表示の充実強化(道路案内標識等)		実施計画記載頁	355
対応する主な課題	②また、本県の外国人登録者数は平成28年12月末現在において、14,285人となっており、年々増加している状況である。国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる社会の構築に向け、県民の異文化・国際理解の向上など、海外からの移住者・滞在者の増加に対応した環境づくりに取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
道路案内標識の適切な設置および修繕・更新を行うとともに県内の主要な地名を示す目標地や主要な観光地を示す著名地点等をローマ字、英語を併記することで外国人観光客等の道路利用者に対してわかりやすい情報提供を行う。		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
		12基 案内標識の設置・更新・修繕				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課 【098-866-2665】					
		案内標識の設置・更新・修繕				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 公共交通安全事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: 県管理道路において、案内標識等を8基新設し、74基修繕した。 ○R元(H31)年度: 案内標識の設置・更新・修繕を12基行う。
一括交付金(ハード)	直接実施	423,469	60,773	84,454	118,446	138,379	130,847	一括交付金(ハード)	
予算事業名							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: ○R元(H31)年度:

活動指標名	案内標識の設置・更新・修繕				H30年度			H30年度決算見込額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	138,379	順調	県管理道路において、案内標識等を8基新設し、74基修繕した。
	12基	12基	12基	18基	82基	12基	100.0%			
活動指標名	—				H30年度			138,379	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 案内標識の設置・更新・修正については、計画値12基に対して、実績値82基で順調に進捗しており、外国人観光客を含めた道路利用者の移動の円滑化が図られ、観光振興に資することができる。
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H30年度			138,379	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 案内標識の設置・更新・修正については、計画値12基に対して、実績値82基で順調に進捗しており、外国人観光客を含めた道路利用者の移動の円滑化が図られ、観光振興に資することができる。
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況					反映状況					
平成30年度の取組改善案					反映状況					
①人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりのため、案内表示の充実強化について、道路案内標識の英語表記は、表示内容を点検し、国・県の道路管理者が一体となり、必要に応じ改善を実施するものであるため、引き続き、修繕・更新の整備も行っていく。					①沖縄ブロック道路標識適正化委員会にて検討された、八重山地域の英語表記の改善箇所について、5基の改善を行った。					
②沖縄ブロック標識適正化委員会にて積極的に情報提供し、案内箇所、案内ルート、英語表記内容を検討していき整備を推進していく。					②沖縄ブロック道路標識適正化委員会の中で、国と県にて新規案内施設、案内ルートの検討を行い、下地島空港を標識で案内対象となる著名地点に登録した。					

様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・国土交通省から各地方公共団体へ平成25年9月の道路案内標識改善方針(案)が通知されたが、一部の標識においては、ローマ字表記から英語による表示・表記に改善されていないものがある。

・国土交通省から、訪日外国人をはじめ、すべての利用者に分かりやすい道案内を実現するため、高速道路ナンバリング化が示された。(H30年度でナンバリング化対策済)

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・観光立県として、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるように国・県の道路管理者が一体となり、新設案内箇所英語表記方法、既存標識の適正な英語表記への改善していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・人に優しい安全・安心・快適な観光地づくりのため、案内表示の充実強化について、道路案内標識の英語表記については、表示内容を点検し、国・県の道路管理者が一体となり、必要に応じ協議し、引き続き、修繕・更新の整備を行う。

・沖縄ブロック標識適正化委員会にて積極的に情報提供し、案内箇所、案内ルート、英語表記内容を検討し整備する。